

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

公開実用 昭和63- 41607

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭63- 41607

⑬ Int.Cl.⁴

E 01 F 9/01
E 04 B 1/41

識別記号

321

府内整理番号

6434-2D
7228-2E

⑭ 公開 昭和63年(1988)3月18日

審査請求 未請求 (全頁)

⑮ 考案の名称 支柱支持装置

⑯ 実用願 昭61-131131

⑰ 出願 昭61(1986)8月29日

⑱ 考案者 田中哲治 東京都港区芝3丁目12番4号 岩崎電気株式会社内

⑲ 考案者 中川武 千葉県四街道市物井598番地7 ワールドポール株式会社
内

⑳ 出願人 岩崎電気株式会社 東京都港区芝3丁目12番4号

㉑ 出願人 ワールドポール株式会
社 千葉県四街道市物井598番地7

明細書

1. 考案の名称

支柱支持装置

2. 実用新案登録請求の範囲

1. 角部に適数の空孔(15)を有する複数の枠体(14), (17)と、枠体(14)と(17)の間に支持するカラ- (16)と、下部先端が曲折し、上半部外周に螺条部(12)を有する複数のアンカーボルト(11)と、複数の締付ナット(18)を用意し、使用場所において、枠体(14)と(17)の間に複数のカラ- (16)を挿持し、下部の枠体(14)の空孔(15)、カラ- (16)、上部の枠体(17)の空孔(15)にアンカーボルト(11)を挿通して締付ナット(18)で一体的に構成し、アンカーボルト(11)の上部一部を残して埋設し、同アンカーボルト(11)の突出部に支柱(22)を支持してなる基板(21)を固定したことを特徴とする支柱支持装置。
2. 枠体(14)の四隅より中心点に向って所定の間隔で複数の空孔(15)を構成し、所望の空孔(15)にアンカーボルト(11)を挿通することにより、

アンカーボルト間のピッチを変えるように構成したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲
第1項記載の支柱支持装置。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は照明器具や標識灯を支持する支柱支持装置の改良に関する。

(従来の技術とその問題点)

従来、照明器具や標識灯を支持するには例えば第5図に示すように、下方先端に曲折部1を有し、上半部に螺条部2を有する4本のアンカーボルト3に所定の間隔を有して2枚の枠体4を組立工場にて溶接して一体的に構成し、使用するときに組立てた構成物を設置場所に埋設し、アンカーボルト3の上部の突出部に、上部に支柱を有する基板を締付ナットで固定している。

ところで同支柱支持装置によると、4本のアンカーボルト3に2枚の枠体4を溶接する必要があり、作業に手数を要する欠点がある。

また4本のアンカーボルト3に2枚の枠体4を

溶接した構成物を倉庫に収納し、使用するときに運搬するので倉庫に収納するのに大きいスペースを必要とし運搬に手数を要する欠点がある。

(考案の目的)

本考案は上記の点に鑑み考案したものであって、アンカーボルトの枠体の組立てが容易で、アンカーボルトに支柱を支持してなる基板を容易に嵌着することができ、また保管スペースが小さくて済み運搬の容易な支柱支持装置を提供することを目的とする。

(問題点を解決するための手段)

以下本考案を第1図乃至第4図について説明する。図において、11は下部先端が曲折し、上半部外周に螺条部12を有する複数のアンカーボルト、13は各アンカーボルト11の下半部の一部に溶接支持してなる支持板、14は角部に適数の空孔15を有する枠体、16は枠体14の上部に位置し、各アンカーボルト11に嵌入するカラー、17はカラー16の上部に位置し、各アンカーボルト11に支持する枠体であって、14と同一に

構成してある。

また枠体14、17は第3図に示すように、四隅より中心点に向って、所定の間隔で適数の空孔15を直線上に構成し、所望の空孔15にアンカーボルト11を挿通し、アンカーボルト間のピッチを変えるように構成してもよい。アンカーボルト間のピッチを大きくすると重量の大きい照明器具や標識灯を支持することができる。18は各アンカーボルト11に螺入し、アンカーボルト11と枠体14、17と一体的に構成するためのナット、19はコンクリートを示し、アンカーボルト11の上部一部は突出部20を有して構成してある。21はアンカーボルト11の突出部20に嵌着支持する基板であって、上部に支柱22を支持して構成し、頂部に照明器具あるいは標識灯を支持してある。

(考案の作用)

上記した支柱支持装置は、上記のように構成した枠体14、17、カラー16、アンカーボルト11、締付ナット18を用意し、設置場所において

て組立てる。

組立に際しては、下部の枠体14の空孔15に各アンカーボルト11を挿通すると共に各アンカーボルト11の上部よりカラ-16を嵌入し、次にアンカーボルト11の上部より枠体17を嵌着することにより簡単に組立てることができる。

組立てた構成物は所定箇所にアンカーボルトの上部一部を残してコンクリートで埋設し支持する。

〔考案の効果〕

本考案は上記したように、複数の枠体と、カラ-と、アンカーボルトと、締付ナットを上述のようにして組立てるので従来の構造に較べ溶接作業が少なく組立て作業が容易となる。

またアンカーボルトは2枚の枠体を嵌入することにより正確に位置を決めることができ、支柱を有する基板を確実にアンカーボルトに嵌着支持することができる。

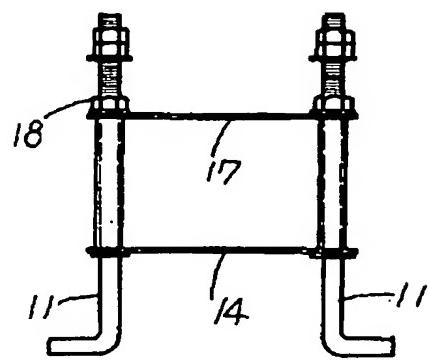
さらに各部品は設置場所において組立てるので、保管場所は小さく運搬作業は容易である利点がある。

4. 図面の簡単な説明

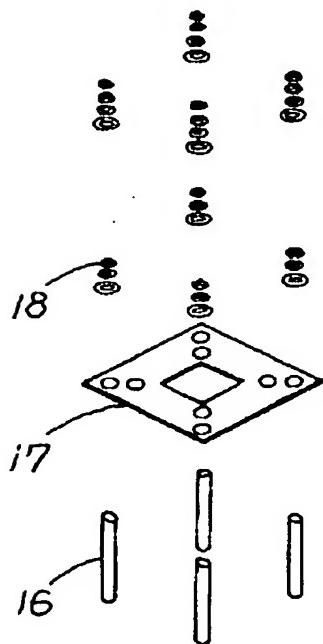
第1図は本考案に係る支柱支持装置の要部側面図、第2図は第1図の分解図、第3図は第1図の枠体の平面図、第4図は第1図の実施例の全体図、第5図は従来の支柱支持装置の側面図である。

11…アンカーボルト、14、17…枠体、16…カラ一。

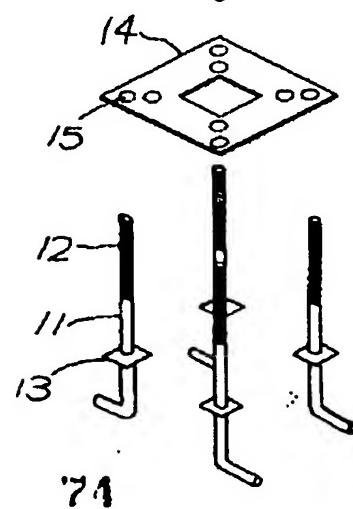
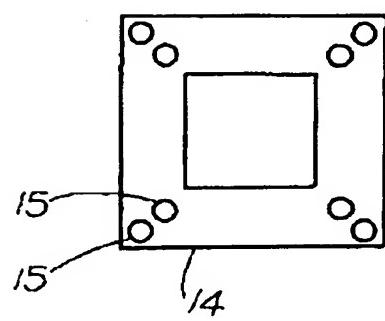
第1図



第2図



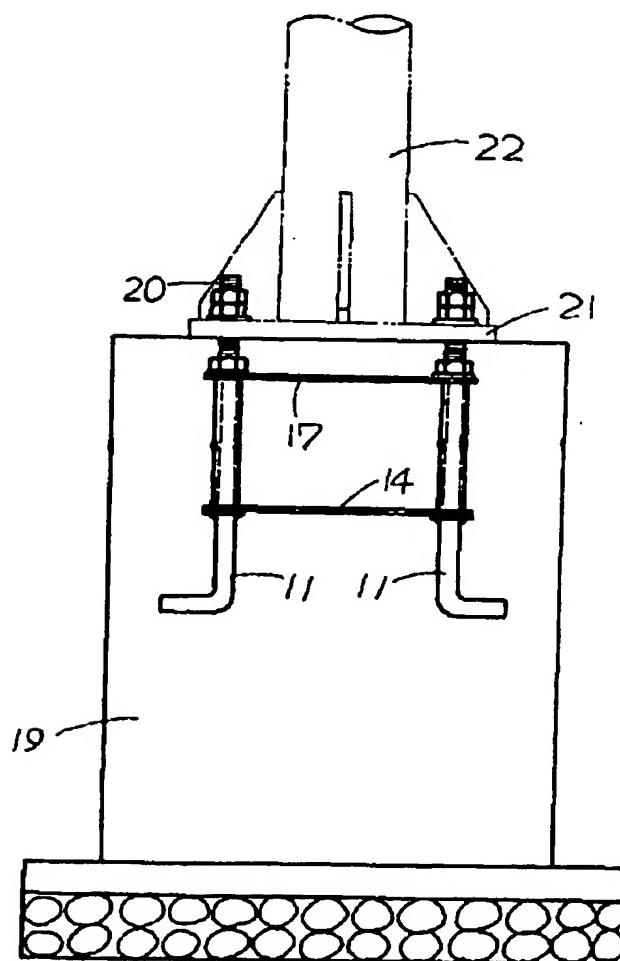
第3図



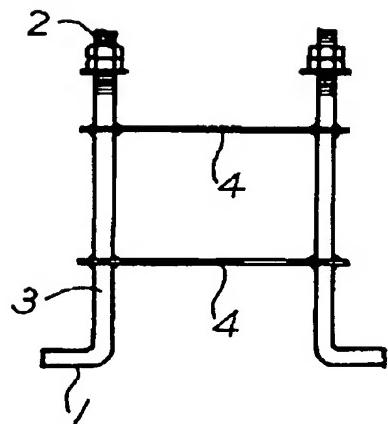
74

実開63-11667
登録出願人 岩崎電気株式会社
登録出願人 ワールドボール株式会社

第4図



第5図



75

実開63-41607

登録出願人 岩崎電気株式会社
登録出願人 ワールドボール株式会社